

Common Terminology Criteria for Adverse Events (CTCAE)

Version 6.0

有害事象共通用語規準 v6.0 日本語訳 JCOG 版
(略称:CTCAE v6.0 - JCOG)

JCOG における運用

「JCOG 共用基準範囲」の使用について

過去、JCOG では2年ごとに各医療機関で使用中の(施設)基準範囲を収集し、臨床検査値の Grading に使用してきた。しかし、各医療機関における施設基準範囲のばらつきが、検査値自体のばらつきよりもむしろ大きく、施設基準範囲を用いることで有害事象評価の施設間差が却って拡大することが問題となっていた。

2013 年 6 月、特定非営利活動法人日本臨床検査標準協議会 (Japanese Committee For Clinical Laboratory Standards:JCCLS)にて共用基準範囲の策定作業が開始された。JCCLS における、共用基準範囲策定の背景にも、わが国では現状、基準範囲が検査室毎に異なった値が採用されていること、基準個体の選別の明確な基準がないこと、計算方法が統一されていないこと、少数例から不安定な条件で設定されていること、などが挙げられている¹⁾。この「共用基準範囲」は日本臨床衛生検査技師会調査など 6,345 人分のデータが用いられ、基準範囲の定義と設定方法も個々の臨床検査値の分布を考慮されたものとなっており、全国 200 医療機関が参加する JCOG 試験で用いる基準範囲としてはこれ以上適切なものはないと判断した。共用基準範囲は継続的に策定中であるが、基準範囲の概要はほぼ固定したことを受け、JCCLS より JCOG での使用許諾を得た上で、同共用基準範囲を「JCOG 共用基準範囲」として、2014 年 4 月より前々バージョンである CTCAE v4.0-JCOG で使用することとした。前 version である CTCAE v5.0-JCOG に続いて本 CTCAE v6.0-JCOG でも継承する。

ただし、JCCLS における「共用基準範囲」は、CTCAE 中の臨床検査値全ての項目は網羅されていないため、一部の項目については、JCOG 運営委員会で承認された基準値を用いている。なお、項目ごとの基準範囲と、共用基準範囲に対応した Grade 定義は、別添の「共用基準範囲対応 CTCAE Grade 定義表」を参照いただきたい。

参考文献 1)市原清志 日本における主要な臨床検査値の規準範囲の共用化 Schneller No.87,2013.Summer

略語について

オリジナル CTCAE v6.0 にて用いられている以下の略語のうち、基準範囲は共用基準範囲を用いる。

LLN: (共用) 基準範囲下限、ULN: (共用) 基準範囲上限

JCOG における運用

- ・共用基準範囲を用いる有害事象項目 (Grade 定義は別添「共用基準範囲対応 CTCAE Grade 定義表」参照)

貧血、好酸球増加症、活性化部分トロンボプラスチン時間延長、アラニンアミノトランスフェラーゼ増加、アルカリホスファターゼ増加※、アスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ増加、血中重炭酸塩減少、血中ビリルビン増加、血中乳酸脱水素酵素増加、CD4 リンパ球減少、コレステロール高値、クレアチニン増加、フィブリノゲン減少、GGT 増加、ハプトグロビン減少、ヘモグロビン増加、リパーゼ増加、血小板減少症、血清アミラーゼ増加、尿蛋白増加、白血球減少、アシドーシス、アルカローシス、高カルシウム血症、高カリウム血症、高マグネシウム血症、高ナトリウム血症、高尿酸血症、低アルブミン血症、低カルシウム血症、低血糖、低カリウム血症、低マグネシウム血症、低ナトリウム血症、慢性腎臓病

※アルカリフォスファターゼについて

2019年11月21日、日本臨床化学会(Japan Society of Clinical Chemistry:JSCC)から、臨床検査のアルカリフォスファターゼ(ALP)の常用基準法を国際臨床化学連合(International Federation of Clinical Chemistry and Laboratory Medicine:IFCC)の基準測定操作法と同一の測定法(IFCC法)に変更する旨が発表され、2020年4月1日より準備の整った施設から変更を開始した。

この変更は、日本のJSCC法と海外のIFCC法で使用する試薬処方異なるために、測定値の乖離現象が発生しており、日本のALP測定値は国際的な治療指針を利用する場合や治験データとしての利用に支障を来しているという実情があることに起因する。2020年3月17日に厚生労働省医政局総務課、厚生労働省医政局地域医療計画課、厚生労働省医薬・生活衛生局医薬安全対策課からも、各医療機関において、検査結果の表示には測定項目の語尾にいずれの測定法であるかを明示する必要があること、ならびに診療を行う際はどちらの測定法で検査値が示されているか確認することが記された事務連絡が発出された。

この変更に伴い、JCOG共用基準範囲「アルカリホスファターゼ」について、従来のJSCC法の基準範囲に加えてIFCC法の基準範囲を併記することとした。(2020年12月19日 第113回JCOG運営委員会)

•CTCAE v6.0で基準範囲を用いなくなった有害事象項目

好中球数減少、リンパ球数減少(AE名はリンパ球減少症に変更)、腓骨筋減少(AE termが削除された)

•共用基準範囲に定義がない項目について

JCCLSで策定された共用基準範囲の中に該当しない項目については、National Cancer Institute – Common Toxicity Criteria (NCI-CTCv2.0)日本語訳JCOG版-第2版での値を使用する。

•10029366 好中球数減少

Grade 1 <2,000–1,500 /mm³

Grade 2 <1,500–1,000 /mm³

Grade 3 <1,000–500 /mm³

Grade 4 <500 /mm³

共用基準範囲、NCI-CTCv2.0日本語訳JCOG版-第2版、ともに該当しない項目については、2011年6月25日第75回JCOG運営委員会、2014年9月20日第88回JCOG運営委員会、2014年12月20日第89回JCOG運営委員会、2018年12月22日第105回JCOG運営委員会で承認された値を使用する。

•10007839 CD4リンパ球数減少

Grade 1 <800–500 /mm³

Grade 2 <500–200 /mm³

Grade 3 <200–50 /mm³

Grade 4 <50 /mm³

•10024574 リパーゼ増加

Grade 1 >53–79.5 U/L

Grade 2 >79.5–159 U/L

Grade 3 >159–265 U/L

Grade 4 >265 U/L

•10020670 高マグネシウム血症

Grade 1 >2.5–3.0 mg/dL

Grade 2 –

Grade 3 >3.0–8.0 mg/dL

Grade 4 >8.0 mg/dL; 生命を脅かす

•10021028 低マグネシウム血症

Grade 1 <1.8－1.2 mg/dL

Grade 2 <1.2－0.9 mg/dL

Grade 3 <0.9－0.7 mg/dL

Grade 4 <0.7 mg/dL; 生命を脅かす

•10016596 フィブリノゲン減少

Grade 1 <180－135 mg/dL

Grade 2 <135－90 mg/dL

Grade 3 <90－45 mg/dL

Grade 4 <45 mg/dL

•10019150 ハプトグロビン減少

Grade 1 <19 mg/dL

Grade 2 －

Grade 3 －

Grade 4 －

•10000486 アシドーシス

Grade 1 pH<7.35 ただし $\geq$ 7.3

Grade 2 －

Grade 3 pH<7.3

Grade 4 生命を脅かす

•10001680 アルカローシス

Grade 1 pH>7.45 ただし $\leq$ 7.5

Grade 2 －

Grade 3 pH>7.5

Grade 4 生命を脅かす

•10014950 好酸球増加症

Grade 1 >8.5%かつ>ベースライン

Grade 2 －

Grade 3 副腎皮質ステロイドを要する

Grade 4 －

•10005359 血中重碳酸塩減少

Grade 1 <22.0 mmol/L で治療を要さない

Grade 2 －

Grade 3 －

Grade 4 －

•10046553 尿蛋白増加(CTCAE v6.0 で蛋白尿から AE 名変更)

Grade 1 成人: 蛋白尿 1+; 尿蛋白 $\geq$ 120 mg-<1.0 g/24 時; 尿蛋白/クレアチニン比<1

小児: 蛋白尿 1+

Grade 2 成人: 蛋白尿 2+~3+; 尿蛋白 1.0-<3.5 g/24 時間; 尿蛋白/クレアチニン比 1-3.5

小児: 尿蛋白/クレアチニン比 0.5-1.9; 蛋白尿 2+ - 3+

Grade 3 成人: 尿蛋白 $\geq$ 3.5 g/24 時間; 蛋白尿 4+; 尿蛋白/クレアチニン比>3.5

小児: 尿蛋白/クレアチニン比>1.9; 蛋白尿 4+

Grade 4 －

•10064848 慢性腎臓病

Grade 1 GFR 推定値またはクレアチニンクリアランスが<70-60 mL/min/1.73 m²

または蛋白尿が 2+; 尿蛋白/クレアチニン比>0.5

Grade 2 GFR 推定値またはクレアチニンクリアランスが $< 60\text{-}30\text{ mL/min/1.73 m}^2$

Grade 3 GFR 推定値またはクレアチニンクリアランスが $< 30\text{-}15\text{ mL/min/1.73 m}^2$

Grade 4 GFR 推定値またはクレアチニンクリアランスが $< 15\text{ mL/min/1.73 m}^2$;

人工透析/腎移植を要する

別添「共用基準範囲対応 CTCAE Grade 定義表」

CTCAE v6.0 MedDRA v28.0 Code	CTCAE v6.0 SOC 日本語	CTCAE v6.0 Term	CTCAE v6.0 Term 日本語	Grade 1	Grade 2	Grade 3	Grade 4	JCOG における運用 の説明
血液およびリンパ系障害 Blood and lymphatic system disorders								
10002272	血液およびリンパ系障害	Anemia	貧血	ヘモグロビン<LLN-10.0 g/dL; <LLN-6.2 mmol/L; <LLN-100 g/L	ヘモグロビン<10.0-8.0 g/dL; <6.2-4.9 mmol/L; <100-80 g/L	ヘモグロビン<8.0 g/dL; <4.9 mmol/L; <80 g/L; 輸血を要する	生命を脅かす; 緊急処置を要する	
	基準範囲	男性	13.7 g/dL	<13.7-10 g/dL	<10.0-8.0 g/dL	<8.0 g/dL; 輸血を要する	生命を脅かす; 緊急処置を要する	
		女性	11.6 g/dL	<11.6-10 g/dL	<10.0-8.0 g/dL	<8.0 g/dL; 輸血を要する	生命を脅かす; 緊急処置を要する	
10014950	血液およびリンパ系障害	Eosinophilia	好酸球増加症	>ULN かつ>ベースライン	-	副腎皮質ステロイドを要する	-	好酸球数の基準範囲 上限は「8.5%」とする
	基準範囲	男女共通	8.5%	>8.5%かつ>ベースライン	-	副腎皮質ステロイドを要する	-	
臨床検査 Investigations								
10000636	臨床検査	Activated partial thromboplastin time prolonged	活性化部分トロンボプラスチン時間延長	>ULN-1.5×ULN	>1.5-2.5×ULN	>2.5×ULN; 出血	-	活性化部分トロンボプラスチン時間の基準範囲 上限は「37 sec」とする
	基準範囲	男女共通	25-37 sec	>37-55.5 sec	>55.5-92.5 sec	>92.5 sec; 出血	-	
10001551	臨床検査	Alanine aminotransferase increased	アラニンアミノトランスフェラーゼ増加	ベースラインが基準範囲上限以下の場合>ULN-3.0×ULN; ベースラインが>ULN の場合 1.0 - 1.5 ×ベースライン	ベースラインが基準範囲上限以下の場合>3.0-5.0×ULN; ベースラインが>ULN の場合>1.5 - 2.0 ×ベースライン	ベースラインが基準範囲上限以下の場合>5.0-20.0×ULN; ベースラインが>ULN の場合>2.0 - 4.0 ×ベースライン	ベースラインが基準範囲上限以下の場合>20.0×ULN; ベースラインが>ULN の場合>4.0 ×ベースライン	
	基準範囲	男性	42 U/L	ベースラインが<=42 U/L: >42-126 U/L ベースラインが>42 U/L: 1.0 - 1.5 ×ベースライン	ベースラインが<=42 U/L: >126-210 U/L ベースラインが>42 U/L: >1.5 - 2.0 ×ベースライン	ベースラインが<=42 U/L: >210-840 U/L ベースラインが>42 U/L: >2.0 - 4.0 ×ベースライン	ベースラインが<=42 U/L: >840 U/L ベースラインが>42 U/L: >4.0 ×ベースライン	
		女性	23 U/L	ベースラインが<=23 U/L: >23-69 U/L ベースラインが>23 U/L: 1.0 - 1.5 ×ベースライン	ベースラインが<=23 U/L: >69-115 U/L ベースラインが>23 U/L: >1.5 - 2.0 ×ベースライン	ベースラインが<=23 U/L: >115-460 U/L ベースラインが>23 U/L: >2.0 - 4.0 ×ベースライン	ベースラインが<=23 U/L: >460 U/L ベースラインが>23 U/L: >4.0 ×ベースライン	
10001675	臨床検査	Alkaline phosphatase increased	アルカリホスファターゼ増加	>ベースラインかつ>ULN	-	-	-	日本臨床化学会 (Japan Society of Clinical Chemistry: JSCC) 国際臨床化学連合 (International Federation of Clinical Chemistry and Laboratory Medicine: IFCC)
	基準範囲	男女共通	322 U/L (JSCC)	>ベースラインかつ>322 U/L (JSCC)	-	-	-	
			113 U/L (IFCC)	>ベースラインかつ>113 U/L (IFCC)	-	-	-	

別添「共用基準範囲対応 CTCAE Grade 定義表」

CTCAE v6.0 MedDRA v28.0 Code	CTCAE v6.0 SOC 日本語	CTCAE v6.0 Term	CTCAE v6.0 Term 日本語	Grade 1	Grade 2	Grade 3	Grade 4	JCOG における運用 の説明
10003481	臨床検査	Aspartate aminotransferase increased	アスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ増加	ベースラインが基準範囲上限以下の場合>ULN-3.0×ULN; ベースラインが>ULNの場合 1.0 - 1.5 ×ベースライン	ベースラインが基準範囲上限以下の場合>3.0-5.0×ULN; ベースラインが>ULNの場合>1.5 - 2.0 ×ベースライン	ベースラインが基準範囲上限以下の場合>5.0-20.0×ULN; ベースラインが>ULNの場合>2.0 - 4.0 ×ベースライン	ベースラインが基準範囲上限以下の場合>20.0×ULN; ベースラインが>ULNの場合>4.0 ×ベースライン	
	基準範囲	男女共通	30 U/L	ベースラインが<=30 U/L: >30-90 U/L ベースラインが>30 U/L: 1.0 - 1.5 ×ベースライン	ベースラインが<=30 U/L: >90-150 U/L ベースラインが>30 U/L: >1.5 - 2.0 ×ベースライン	ベースラインが<=30 U/L: >150-600 U/L ベースラインが>30 U/L: >2.0 - 4.0 ×ベースライン	ベースラインが<=30 U/L: >600 U/L ベースラインが>30 U/L: >4.0 ×ベースライン	
10005359	臨床検査	Blood bicarbonate decreased	血中重炭酸塩減少	<LLN で治療を要さない	-	-	-	血中重炭酸塩の基準範囲下限は「22.0 mmol/L」とする
	基準範囲	男女共通	22.0 mmol/L	<22.0 mmol/L で治療を要さない	-	-	-	
10005364	臨床検査	Blood bilirubin increased	血中ビリルビン増加	ベースラインが基準範囲上限以下の場合>ULN-1.5×ULN; ベースラインが>ULNの場合>1.0 - 1.5×ベースライン	ベースラインが基準範囲上限以下の場合>1.5-3.0×ULN; ベースラインが>ULNの場合>1.5 - 2.5 ×ベースライン	ベースラインが基準範囲上限以下の場合>3.0-10.0×ULN; ベースラインが>ULNの場合>2.5 - 10.0 ×ベースライン	ベースラインが基準範囲上限以下の場合>10.0×ULN; ベースラインが>ULNの場合>10.0×ベースライン	
	基準範囲	男女共通	1.5 mg/dL	ベースラインが<=1.5 mg/dL: >1.5 - 2.25 mg/dL; ベースラインが>1.5 mg/dL: >1.0 - 1.5 ×ベースライン	ベースラインが<=1.5 mg/dL: >2.25 - 4.5 mg/dL; ベースラインが>1.5 mg/dL: >1.5 - 2.5×ベースライン	ベースラインが<=1.5 mg/dL: >4.5-15 mg/dL; ベースラインが>1.5 mg/dL: >2.5 - 10.0 ×ベースライン	ベースラインが<=1.5 mg/dL: >15 mg/dL; ベースラインが>1.5 mg/dL: >10.0×ベースライン	
10005630	臨床検査	Blood lactate dehydrogenase increased	血中乳酸脱水素酵素増加	>ULN	-	-	-	
	基準範囲	男女共通	222 U/L	>222 U/L	-	-	-	
10007839	臨床検査	CD4 lymphocytes decreased	CD4 リンパ球減少	<LLN-500 /mm ³ ; <LLN-0.5×10e9 /L	<500-200/mm ³ ; <0.5-0.2×10e9 /L	<200-50/mm ³ ; <0.2-0.05×10e9 /L	<50 /mm ³ ; <0.05×10e9 /L	CD4 リンパ球数の基準範囲下限は「800 /mm ³ 」とする
	基準範囲	男女共通	800 /mm ³	<800-500 /mm ³	<500-200 /mm ³	<200-50 /mm ³	<50 /mm ³	
10008661	臨床検査	Cholesterol high	コレステロール高値	>ULN-300 mg/dL; >ULN-7.75 mmol/L	>300-400 mg/dL; >7.75-10.34 mmol/L	>400-500 mg/dL; >10.34-12.92 mmol/L	>500 mg/dL; >12.92 mmol/L	
	基準範囲	男女共通	248 mg/dL	>248-300 mg/dL	>300-400 mg/dL	>400-500 mg/dL	>500 mg/dL	
10011368	臨床検査	Creatinine increased	クレアチニン増加	>ULN-1.5×ULN	>1.5-3.0×ULN; ベースラインが基準範囲下限未満の場合>1.5 - 3.0 ×ベースライン	> 3.0-6.0×ULN; ベースラインが基準範囲下限未満の場合>3.0 ×ベースライン	>6.0×ULN	ベースラインとの比が Grade 2 と Grade 3 のみ用いられている。Grade 1、Grade 4 と整合性がとれず MECE でないため、JCOG ではベースラインが基準範囲下限未満の場合分けは採用しない。
	基準範囲	男性	1.07 mg/dL	>1.07-1.605 mg/dL	>1.605-3.21 mg/dL	>3.21-6.42 mg/dL	>6.42 mg/dL	
		女性	0.79 mg/dL	>0.79-1.185 mg/dL	>1.185-2.37 mg/dL	>2.37-4.74 mg/dL	>4.74 mg/dL	

別添「共用基準範囲対応 CTCAE Grade 定義表」

CTCAE v6.0 MedDRA v28.0 Code	CTCAE v6.0 SOC 日本語	CTCAE v6.0 Term	CTCAE v6.0 Term 日本語	Grade 1	Grade 2	Grade 3	Grade 4	JCOGにおける運用 の説明
10016596	臨床検査	Fibrinogen decreased	フィブリノゲン減少	<1.0-0.75×LLN またはベースラインから< 25%の減少	<0.75-0.5×LLN またはベースラインから 25- <50%の減少	<0.5-0.25×LLN またはベースラインから 50- <75%の減少	<0.25×LLN またはベースラインから 75%以上の減少 または絶対値が<50 mg/dL	フィブリノゲンの基準範囲 下限は「180 mg/dL」とする ベースラインからの変化の併用は MECE で ないため JCOG では採用 しない
	基準範囲	男女共通	180 mg/dL	<180-135 mg/dL	<135-90 mg/dL	<90-45 mg/dL	<45 mg/dL	
10056910	臨床検査	GGT increased	GGT 増加	ベースラインが基準範囲上 限以下の場合>ULN- 2.5×ULN; ベースラインが>ULN の場 合 1.0 - 1.5 ×ベースライン	ベースラインが基準範囲上 限以下の場合>2.5- 5.0×ULN; ベースラインが>ULN の場 合>1.5 - 3.0 ×ベースライン	ベースラインが基準範囲上 限以下の場合>5.0- 20.0×ULN; ベースラインが>ULN の場 合>3.0 - 10.0 ×ベースライ ン	ベースラインが基準範囲上 限以下の場合>20.0×ULN; ベースラインが>ULN の場 合>10.0 ×ベースライン	
	基準範囲	男性	64 U/L	ベースライン<=64 U/L: >64-160 U/L; ベースライン>64 U/L: 1.0 - 1.5 ×ベースライン	ベースライン<=64 U/L: >160-320 U/L; ベースライン>64 U/L: >1.5 - 3.0 ×ベースライン	ベースライン<=64 U/L: >320-1,280 U/L; ベースライン>64 U/L: >3.0 - 10.0 ×ベースライン	ベースライン<=64 U/L: >1,280 U/L; ベースライン>64 U/L: >10.0 x ベースライン	
		女性	32 U/L	ベースライン<=32 U/L: >32-80 U/L; ベースライン>32 U/L: 1.0 - 1.5 ×ベースライン	ベースライン<=32 U/L: >80-160 U/L; ベースライン>32 U/L: >1.5 - 3.0 ×ベースライン	ベースライン<=32 U/L: >160-640 U/L; ベースライン>32 U/L: >3.0 - 10.0 ×ベースライン	ベースライン<=32 U/L: >640 U/L; ベースライン>32 U/L: >10.0 ×ベースライン	
10019150	臨床検査	Haptoglobin decreased	ハプトグロビン減少	<LLN	-	-	-	ハプトグロビンの基準 範囲下限は 「19 mg/dL」とする
	基準範囲	男女共通	19 mg/dL	<19 mg/dL	-	-	-	
10055599	臨床検査	Hemoglobin increased	ヘモグロビン増加	ULN より>0-2 g/dL 増加;	ULN より>2-4g/dL 増加	ULN より>4 g/dL 増加	-	CTCAE v5.0 では、 ベースラインからの変化 を評価する規程が削除された
	基準範囲	男性	16.8 g/dL	>16.8-18.8 g/dL	>18.8-20.8 g/dL	>20.8 g/dL	-	
		女性	14.8 g/dL	>14.8-16.8 g/dL	>16.8-18.8 g/dL	>18.8 g/dL	-	
10024574	臨床検査	Lipase increased	リパーゼ増加	>ULN-1.5×ULN	>1.5-3.0×ULN; 3.0-5.0×ULN で症状がない	>3.0-5.0×ULN で徴候や症 状がある; >5.0×ULN で症状がない	>5.0×ULN で徴候や症状が ある	リパーゼの基準範囲上 限は「53 U/L」とする
	基準範囲	男女共通	53 U/L	>53-79.5 U/L	>79.5-159 U/L; >159-265 U/L で症状がな い	>159-265 U/L で徴候や症 状がある; >265 U/L で症状がない	>265 U/L で徴候や症状が ある	
10029366	臨床検査	Neutrophil count decreased	好中球数減少	<1,500 - 1,000/mm ³ ; <1.5 - 1.0 ×10 ⁹ /L	<1,000 - 500/mm ³ ; <1.0 - 0.5 ×10 ⁹ /L	<500 - 100/mm ³ ; <0.5 - 0.1 ×10 ⁹ /L	<100/mm ³ ; <0.1 × 10 ⁹ /L	CTCAEv6.0 で基準範囲 下限を用いなくなっ た。Grade のカットオフ も変更になったため本 表に残す。
	基準範囲	男女共通	2,000 /mm ³	<1,500-1,000 /mm ³	<1,000-500 /mm ³	<500-100 /mm ³	<100 /mm ³	
10043554	血液およびリンパ系障害	Thrombocytopenia	血小板減少症	<LLN-75,000 /mm ³ ; <LLN-75.0×10 ⁹ /L	<75,000-50,000 /mm ³ ; < 75.0-50.0×10 ⁹ /L	<50,000-10,000 /mm ³ ; < 50.0-10.0×10 ⁹ /L; 輸血を 要する	<10,000 /mm ³ ; <10.0×10 ⁹ /L; 生命を脅 かす; 緊急処置を要する	
	基準範囲	男女共通	158,000/mm ³	<158,000-75,000 /mm ³	<75,000-50,000 /mm ³	<50,000-10,000 /mm ³ ; 輸 血を要する	<10,000 /mm ³ ; 生命を脅か す; 緊急処置を要する	

別添「共用基準範囲対応 CTCAE Grade 定義表」

CTCAE v6.0 MedDRA v28.0 Code	CTCAE v6.0 SOC 日本語	CTCAE v6.0 Term	CTCAE v6.0 Term 日本語	Grade 1	Grade 2	Grade 3	Grade 4	JCOGにおける運用 の説明
10040139	臨床検査	Serum amylase increased	血清アミラーゼ増加	>ULN-1.5×ULN	>1.5-2.0×ULN; 2.0-5.0×ULN で症状がない か軽度の徴候や症状がある	>2.0-5.0×ULN で中等度か 高度の徴候や症状がある; >5.0×ULN で症状がない	>5.0×ULN で徴候や症状が ある	
	基準範囲	男女共通	132 U/L	>132-198 U/L	>198-264 U/L; >264-660 U/L で症状がない か軽度の徴候や症状がある	>264-660 U/L で中等度か 高度の徴候や症状がある; >660 U/L で症状がない	>660 U/L で徴候や症状が ある	
10046553	臨床検査	Urinary protein increased	尿蛋白増加	成人: 蛋白尿 1+; 尿蛋白>=ULN- <1.0 g/24 時間; 尿蛋白/クレアチニン比<1; 小児: 蛋白尿 1+	成人: 蛋白尿 2+~3+; 尿蛋白 1.0-<3.5 g/24 時間; 尿蛋白/クレアチニン比 1- 3.5; 小児: 尿蛋白/クレアチニン比 0.5- 1.9; 蛋白尿 2+ - 3+	成人: 尿蛋白>=3.5 g/24 時間; 蛋白尿 4+; 尿蛋白/クレアチニン比>3.5; 小児: 尿蛋白/クレアチニン比>1.9; 蛋白尿 4+	-	尿蛋白 1 日量の基準 範囲上限は「120 mg/ 日」とする
	基準範囲	男女共通	120 mg/日	成人: 蛋白尿 1+; 尿蛋白 >=120 mg- <1.0 g/24 時間; 尿蛋白/クレアチニン比<1; 小児: 蛋白尿 1+	成人: 蛋白尿 2+~3+; 尿蛋白 1.0-<3.5 g/24 時間; 尿蛋白/クレアチニン比 1- 3.5; 小児: 尿蛋白/クレアチニン比 0.5- 1.9; 蛋白尿 2+ - 3+	成人: 尿蛋白>=3.5 g/24 時間; 蛋白尿 4+; 尿蛋白/クレアチニン比>3.5; 小児: 尿蛋白/クレアチニン比>1.9; 蛋白尿 4+	-	
10049182	臨床検査	White blood cell decreased	白血球減少	<LLN-3,000 /mm ³ ; <LLN-3.0×10e9 /L	<3,000-2,000 /mm ³ ; <3.0-2.0×10e9 /L	<2,000—1,000 /mm ³ ; <2.0-1.0×10e9 /L	<1,000 /mm ³ ; <1.0×10e9 /L	
	基準範囲	男女共通	3,300 /mm ³	<3,300-3,000 /mm ³	<3,000-2,000 /mm ³	<2,000-1,000 /mm ³	<1,000 /mm ³	
代謝および栄養障害 Metabolism and nutrition disorders								
10000486	代謝および栄養 障害	Acidosis	アシドーシス	pH<正常値。ただし≥7.3	-	pH<7.3	生命を脅かす	pH の基準範囲下限は 「7.35」とする
	基準範囲	男女共通	7.35-7.45	<7.35 ただし≥7.3	-	pH<7.3	生命を脅かす	
10001680	代謝および栄養 障害	Alkalosis	アルカローシス	pH>正常値。ただし≤7.5	-	pH>7.5	生命を脅かす	pH の基準範囲上限は 「7.45」とする
	基準範囲	男女共通	7.35-7.45	>7.45 ただし≤7.5	-	pH>7.5	生命を脅かす	
10020587	代謝および栄養 障害	Hypercalcemia	高カルシウム血症	補正血清カルシウム>ULN- 11.5 mg/dL; >ULN-2.9 mmol/L; イオン化カルシウ ム>ULN-1.5 mmol/L	補正血清カルシウム>11.5- 12.5 mg/dL; >2.9-3.1 mmol/L; イオン化カルシウ ム>1.5-1.6 mmol/L; 症状 がある	補正血清カルシウム>12.5- 13.5 mg/dL; >3.1-3.4 mmol/L; イオン化カルシウ ム>1.6-1.8 mmol/L; 入院 を要する	補正血清カルシウム>13.5 mg/dL; >3.4 mmol/L; イオ ン化カルシウム>1.8 mmol/L; 生命を脅かす	カルシウムの基準範囲 上限は「10.1 mg/dL」と する
	基準範囲	男女共通	10.1 mg/dL	>10.1-11.5 mg/dL	>11.5-12.5 mg/dL; 症状がある	>12.5-13.5 mg/dL; 入院を要する	>13.5 mg/dL; 生命を脅かす	

別添「共用基準範囲対応 CTCAE Grade 定義表」

CTCAE v6.0 MedDRA v28.0 Code	CTCAE v6.0 SOC 日本語	CTCAE v6.0 Term	CTCAE v6.0 Term 日本語	Grade 1	Grade 2	Grade 3	Grade 4	JCOGにおける運用 の説明
10020647	代謝および栄 養障害	Hyperkalemia	高カリウム血症	>ULN-5.5 mmol/L	>5.5-6.0 mmol/L; 治療を要する	>6.0-7.0 mmol/L; 入院を要する	>7.0 mmol/L; 生命を脅かす	カリウムの基準範囲上 限は「4.8 mmol/L」とす る
	基準範囲	男女共通	4.8 mmol/L	>4.8-5.5 mmol/L	>5.5-6.0 mmol/L 治療を要する	>6.0-7.0 mmol/L; 入院を要する	>7.0 mmol/L; 生命を脅かす	
10020670	代謝および栄 養障害	Hypermagnese mia	高マグネシウム血症	>ULN-3.0 mg/dL; >ULN-1.23 mmol/L	-	>3.0-8.0 mg/dL; >1.23-3.30 mmol/L	>8.0 mg/dL; >3.30 mmol/L; 生命を脅か す	マグネシウムの基準範 囲上限は「2.5 mg/dL」 とする
	基準範囲	男女共通	2.5 mg/dL	>2.5-3.0 mg/dL	-	>3.0-8.0 mg/dL	>8.0 mg/dL; 生命を脅かす	
10020680	代謝および栄 養障害	Hypernatremia	高ナトリウム血症	>ULN-150 mmol/L	>150-155 mmol/L; 治療を要する	>155-160 mmol/L; 入院を要する	>160 mmol/L; 生命を脅かす	ナトリウムの基準範囲 上限は「145 mmol/L」 とする
	基準範囲	男女共通	145 mmol/L	>145-150 mmol/L	>150-155 mmol/L 治療を要する	>155-160 mmol/L; 入院を要する	>160 mmol/L; 生命を脅かす	
10020907	代謝および栄 養障害	Hyperuricemia	高尿酸血症	>ULN であるが生理機能に 影響がない	-	>ULN であり、生理機能に 影響がある	生命を脅かす	高尿酸血症によると判 断される関節炎、腎障 害、尿管結石が見られ た場合を「生理機能に 影響がある」とする
	基準範囲	男性	7.8 mg/dL	>7.8 mg/dL、生理機能に影 響がない	-	>7.8 mg/dL、生理機能に影 響がある	生命を脅かす	
		女性	5.5 mg/dL	>5.5 mg/dL、生理機能に影 響がない	-	>5.5 mg/dL、生理機能に影 響がある	生命を脅かす	
10020943	代謝および栄 養障害	Hypoalbuminem ia	低アルブミン血症	<LLN-3 g/dL; <LLN-30 g/L	<3-2 g/dL; <30-20 g/L	<2 g/dL; <20 g/L	生命を脅かす; 緊急処置を 要する	アルブミンの基準範囲 下限は「4.1 g/dL」とす る
	基準範囲	男女共通	4.1 g/dL	<4.1-3 g/dL	<3-2 g/dL	<2 g/dL	生命を脅かす; 緊急処置を 要する	
10020949	代謝および栄 養障害	Hypocalcemia	低カルシウム血症	補正血清カルシウム<LLN- 8.0 mg/dL; <LLN-2.0 mmol/L; イオン化カルシウム<LLN- 1.0 mmol/L	補正血清カルシウム<8.0- 7.0 mg/dL; <2.0-1.75 mmol/L; イオン化カルシウム<1.0- 0.9 mmol/L; 症状がある	補正血清カルシウム<7.0- 6.0 mg/dL; <1.75-1.5 mmol/L; イオン化カルシウム<0.9- 0.8 mmol/L; 入院を要する	補正血清カルシウム<6.0 mg/dL; <1.5 mmol/L; イオン化カルシウム<0.8 mmol/L; 生命を脅かす	カルシウムの基準範囲 下限は「8.8 mg/dL」と する
	基準範囲	男女共通	8.8 mg/dL	<8.8-8.0 mg/dL	<8.0-7.0 mg/dL; 症状がある	<7.0-6.0 mg/dL; 入院を要する	<6.0 mg/dL; 生命を脅かす	
10021005	代謝および栄 養障害	Hypoglycemia	低血糖	<LLN-55 mg/dL; <LLN- 3.0 mmol/L	<55-40 mg/dL; <3.0-2.2 mmol/L	<40-30 mg/dL; <2.2-1.7 mmol/L	<30 mg/dL; <1.7 mmol/L; 生命を脅かす; 発作	血糖の基準範囲下限 は「73 mg/dL」とする
	基準範囲	男女共通	73 mg/dL	<73-55 mg/dL	<55-40 mg/dL	<40-30 mg/dL	<30 mg/dL; 生命を脅かす; 発作	
10021018	代謝および栄 養障害	Hypokalemia	低カリウム血症	<LLN-3.0 mmol/L で症状 がない	<LLN-3.0 mmol/L で症状 がある; 治療を要する	<3.0-2.5 mmol/L; 入院を 要する	<2.5 mmol/L; 生命を脅かす	カリウムの基準範囲下 限は「3.6 mmol/L」とす る
	基準範囲	男女共通	3.6 mmol/L	<3.6-3.0 mmol/L で症状が ない	<3.6-3.0 mmol/L で症状が ある; 治療を要する	<3.0-2.5 mmol/L; 入院を要する	<2.5 mmol/L; 生命を脅かす	
10021028	代謝および栄 養障害	Hypomagnese mia	低マグネシウム血症	<LLN-1.2 mg/dL; <LLN- 0.5 mmol/L	<1.2-0.9 mg/dL; <0.5-0.4 mmol/L	<0.9-0.7 mg/dL; <0.4-0.3 mmol/L	<0.7 mg/dL; <0.3 mmol/L; 生命を脅かす	マグネシウムの基準範 囲下限は「1.8 mg/dL」 とする
	基準範囲	男女共通	1.8 mg/dL	<1.8-1.2 mg/dL	<1.2-0.9 mg/dL	<0.9-0.7 mg/dL	<0.7 mg/dL; 生命を脅かす	

別添「共用基準範囲対応 CTCAE Grade 定義表」

CTCAE v6.0 MedDRA v28.0 Code	CTCAE v6.0 SOC 日本語	CTCAE v6.0 Term	CTCAE v6.0 Term 日本語	Grade 1	Grade 2	Grade 3	Grade 4	JCOGにおける運用 の説明
10021038	代謝および栄養障害	Hyponatremia	低ナトリウム血症	<LLN-130 mmol/L	125-<130 mmol/L で症状がない	125-<130 mmol/L で症状がある; 120-<125 mmol/L で症状の有無は問わない	<120 mmol/L; 生命を脅かす	ナトリウムの基準範囲下限は「138 mmol/L」とする
	基準範囲	男女共通	138 mmol/L	<138-130 mmol/L	125-<130 mmol/L で症状がない	125-<130 mmol/L で症状がある; 120-<125 mmol/L で症状の有無は問わない	<120 mmol/L; 生命を脅かす	
腎および尿路障害 Renal and urinary disorders								
10064848	腎および尿路障害	Chronic kidney disease	慢性腎臓病	GFR 推定値またはクレアチニンクリアランスが<LLN-60 mL/min/1.73 m ² または蛋白尿が 2+; 尿蛋白/クレアチニン比>0.5	GFR 推定値またはクレアチニンクリアランスが<60-30 mL/min/1.73 m ²	GFR 推定値またはクレアチニンクリアランスが<30-15 mL/min/1.73 m ²	GFR 推定値またはクレアチニンクリアランスが<15 mL/min/1.73 m ² ; 人工透析/腎移植を要する	クレアチニンクリアランスの基準範囲下限は「70 mL/min/1.73 m ² 」とする
	基準範囲	男女共通	70 mL/min/1.73 m ²	GFR 推定値またはクレアチニンクリアランスが<70-60 mL/min/1.73 m ² または蛋白尿が 2+; 尿蛋白/クレアチニン比>0.5	GFR 推定値またはクレアチニンクリアランスが<60-30 mL/min/1.73 m ²	GFR 推定値またはクレアチニンクリアランスが<30-15 mL/min/1.73 m ²	GFR 推定値またはクレアチニンクリアランスが<15 mL/min/1.73 m ² ; 人工透析/腎移植を要する	